

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名		D 建設・整備事業				
担当部署名		シート番号				19-61
建設	局	道路	部	連続立体推進	課	評価責任者(課長名)
						山路

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	令和 9 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法 踏切道改良促進法			
	4	関連計画	近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画			
5	事業実施の経緯	<p>鉄道が道路と交差する踏切では、交通渋滞や事故が発生しており、また鉄道が地域を分断し、一体的なまちづくりを妨げている。そこで、連続立体交差化とともに側道、駅前線及び駅前交通広場の整備を行うことで、踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消をめざし、安全で円滑な交通の確保、一体的なまちづくりを推進する。</p> <p>平成15年度 新規着工準備採択 平成17年度 都市計画決定 平成18年度 事業認可取得(令和9年度未完了予定)</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民及び道路・鉄道利用者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	<p>鉄道の高架化により既存の踏切(7箇所)を除却し、交通渋滞の抜本的解消を図るとともに、鉄道による市街地の分断を解消し、市街地の一体化に貢献する。あわせて、側道、駅前線および駅前交通広場を整備することにより、安全で円滑な交通の確保、利便性の向上、一体的なまちづくりを推進する。</p>			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>延長：約2.7km、踏切数：7箇所、概算事業費：約423億円 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅、関連側道の整備 あわせて整備する道路：(都)諏訪ノ森駅前線および駅前交通広場、(都)浜寺公園駅前線および駅前交通広場</p> <p>南海本線高架事業に影響する阪堺線の対応方法や旧駅舎の活用方法について住民と意見交換を行いながら検討を進めるとともに、令和9年度の事業完了に向けて工事を進める。</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 南海電気鉄道株式会社、業務並びに工事の受注者				

Ⅲ. 投入量

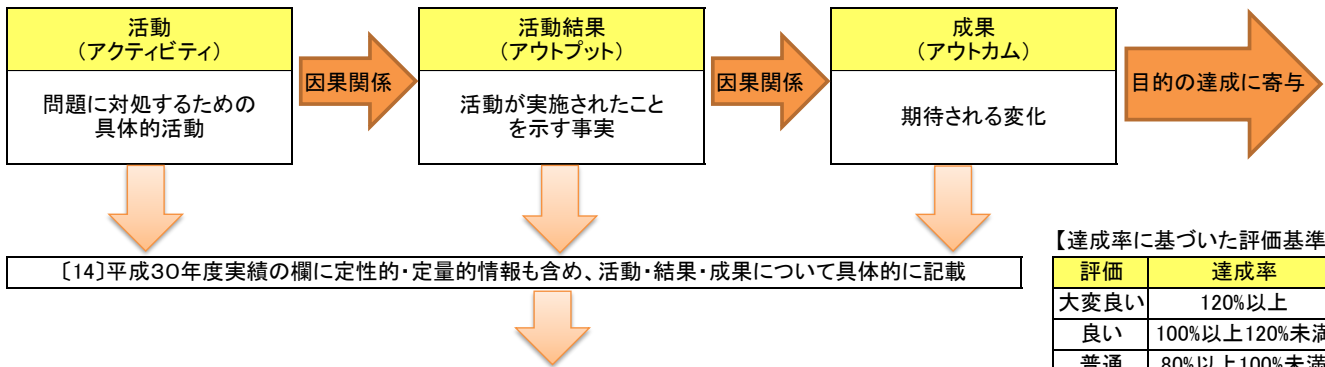
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	502,653	2,286,304	1,429,103	4,022,386	
11 主な事業費内訳	用地取得・建物補償	千円	179,333	334,569	93,522	303,127
	委託業務等	千円	322,639	194,816	106,126	553,059
	鉄道事業者工事負担金等	千円	681	1,756,919	1,229,455	3,166,200
		千円				
	国・府支出金	千円	90,315	1,119,336	636,411	2,073,772
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円	214,100	911,200	512,300	1,527,000
	その他(事業に関連する収入等)	千円	134,831	116,260	189,429	42,774
一般財源	千円	63,407	139,508	90,963	378,840	
12 人件費 (b)	千円	48,700	48,700	40,400	40,050	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	551,353	2,335,004	1,469,503	4,062,436	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	南海本線連続立体交差事業	シート番号	19-61
-------	--------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	平成30年度は、用地取得、付替え側道設置工事、鉄道仮線工事を進めるとともに、阪堺線対応説明会(2回)開催、地域による旧浜寺公園駅舎の試験活用開始、諏訪ノ森駅舎活用に関する意見交換会を開催し、まちづくりについても併せて検討を進めた。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		用地買収率	%	目標値	92	95	100	100
				実績値	93	94	95	
				達成率	101%	99%	95%	
				評価	良い	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		用地買収率＝買収面積／買収予定面積(事業用地)					
	16	目標						
		工事進捗の確保						
		目標に対する実績	平成28年度 仮線工事本格着手、平成29年度 浜寺公園旧駅舎曳家完了、平成30年度 諏訪ノ森駅舎着手					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>・事業スケジュールに基づき、概ねの工事進捗を確保することができた。 ・用地買収については、任意交渉が困難となった案件を対象に、土地収用に着手し、必要な手続きを概ね完了することができた。なお、用地取得は令和元年度の見込みである。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。